

南のひと 45

写真・文=水野暁子

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。
暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を
込めて撮影している。



おおはま れん
大濱 廉さんは石垣島出身、現在社会人1年生である。廉さんのことはこれまでに2回撮影している。1回目の撮影は、2021年の夏の終わりごろ、廉さんが高校3年生の時だった。「南のひと・Transition」というシリーズで社会に出る前の学生を追って撮影している時に会った。奇抜な装いに身を包み待ち合わせ場所に現われた廉さんは、自分を表現する方法の1つであるファッションが好きなのだ、どこかあどけなさが残る口調で話してくれた。

昨年行われた参議院議員選挙の時に、選挙に行つて投票した18歳、19歳の人へ撮影のプレゼントをSNSで呼び掛けた。その時に「投票してきました」と1番最初にメッセージをくれたのが廉さんだった。撮影日の都合が合ったのは、参議院選挙が終わり、3ヶ月以上経った石垣市長選が終わってからとなった。

撮影はユーグレナモールで行った。廉さんが小さい頃、親戚がお店を営んでいたことからよくここで時間を過ごしていたそうだ。廉さんはこだわりのシャツとヘアスタイルで現れた。

高校を卒業した廉さんは、介護福祉の仕事についていた。商店街を歩きながら、新しい生活について尋ねると、「責任感に押しつぶされそうです」と俯き加減に呟いた。以前会った時より横顔が大人びて見え、あどけなさは消えているようだった。

撮影後、選挙に行つて投票した時のことを聞いた。「石垣市長選挙の時の方がずっと身近に感じて、もっと調べた」と話してくれた。廉さんは、話す時の声のトーンが静かで優しく、言葉使いが丁寧だ。その口調からは彼の育ってきた環境がにじみ出ているように感じた。

学生から社会人へと踏み出していく最初の一步のこの時期に撮影できたこと、今だから感じている葛藤やあがきを隠さず見せてくれたことへ感謝したい。

水野暁子 みずのあきこ

1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

●島人へのインタビューをまとめて紹介しているYouTubeチャンネル「八重山ライブラリー」も。



Akiko Mizuno Photography



八重山ライブラリー